



AVG File Server 2012

User Manual

Document revision 2012.01 (11/ 30/ 2011)

Copyright AVG Technologies CZ, s.r.o. All rights reserved.
All other trademarks are the property of their respective owners.

This product uses RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, Copyright (C) 1991- 2, RSA Data Security, Inc. Created 1991.
This product uses code from C- SaCzech library, Copyright (c) 1996- 2001 Jaromir Dolecek (dolecek@cs.muni.cz).
This product uses compression library zlib, Copyright (c) 1995- 2002 Jean- loup Gailly and Mark Adler.
This product uses compression library libbzip2, Copyright (c) 1996- 2002 Julian R. Seward.



Contents

| | |
|--|-----------|
| 1. はじめに | 3 |
| 2. AVG インストール要件 | 4 |
| 2.1 対応オペレーティング システム | 4 |
| 2.2 サポートされているファイル サーバー | 4 |
| 2.3 ハードウェア要件 | 4 |
| 3. AVG インストール処理 | 5 |
| 3.1 インストールの実行 | 5 |
| 3.2 ライセンスのアクティベート | 6 |
| 3.3 インストール タイプの選択 | 7 |
| 3.4 カスタム インストール - カスタム オプション | 8 |
| 3.5 インストール完了 | 9 |
| 4. MS SharePoint 向けドキュメントスキャナ | 10 |
| 4.1 概要 | 10 |
| 4.2 MS SharePoint 向けドキュメントスキャナ | 12 |
| 4.3 検出アクション | 14 |
| 5. AVG for SharePoint Portal Server | 16 |
| 5.1 プログラムメンテナンス | 16 |
| 5.2 AVG for SPPS Configuration - SharePoint 2007 | 16 |
| 5.3 AVG for SPPS Configuration - SharePoint 2003 | 18 |
| 6. AVG 設定マネージャ | 20 |
| 7. FAQ およびテクニカル サポート | 23 |



1. はじめに

このユーザー マニュアルは、AVG File Server 2012 の包括的なマニュアルです。

AVG File Server 2012 をご購入いただき、どうもありがとうございます。

AVG File Server 2012は、サーバーの総合的なセキュリティを提供するように設計された、受賞経験のあるAVG製品の1つです。すべてのAVG製品と同様に、AVGの信頼性のあるセキュリティ機能をより分かりやすく、効率的な方法で提供するために、AVG File Server 2012は完全に再設計されました。

AVGは、コンピュータとネットワークアクティビティの保護を目的として設計、開発されています。AVGによる完全な保護をぜひ体感してください。

メモ: このドキュメントでは、特定のファイルサーバー版の機能について説明しています。他のAVG機能に関する情報が必要な場合は、ユーザーガイドのInternet Security版を参照してください。すべての必要な詳細について説明しています。このガイドは、<http://www.avg.com> からダウンロードできます。



2. AVG インストール要件

2.1. 対応オペレーティング システム

AVG File Server 2012 は、次のオペレーティング システムで稼動するワークステーションとサーバーの保護を目的としています。

- Windows 2003 Server および Windows 2003 Server x64 Edition (Service Pack 1)
- Windows 2008 Server および Windows 2008 Server x64 Edition

(また、特定のオペレーティング システム用 サービス パック)

2.2. サポートされているファイル サーバー

次のファイル サーバーがサポートされています。

- MS SharePoint 2003 Server バージョン
- MS SharePoint 2007 Server バージョン
- MS SharePoint 2010 Server バージョン

2.3. ハードウェア要件

AVG File Server 2012 の最低ハードウェア要件：

- Intel Pentium CPU 1,5 GHz
- 512 MB の RAM メモリ
- ハードディスク空き容量 470MB以上 (インストールのため)

AVG File Server 2012 の推奨ハードウェア要件：

- Intel Pentium CPU 1,8 GHz
- 512 MB の RAM メモリ
- ハードディスク空き容量 600MB以上 (インストールのため)



3. AVG インストール処理

AVG をコンピュータにインストールするには、最新のインストール ファイルを入手する必要があります。パッケージ版の CD にあるインストール ファイルも使用できますが、このファイルは古い可能性があります。したがって、最新のインストール ファイルをオンラインで入手することをお勧めします。[AVG Web サイト \(http://www.avg.com/download?prd=msw\)](http://www.avg.com/download?prd=msw) からファイルをダウンロードできます。

メモ: 各製品には 32 ビット オペレーティングシステム (x86) と 64 ビット オペレーティングシステム (x64) 用の 2 種類のパッケージがあります。必ず使用しているオペレーティングシステムに合った正しいインストールパッケージを使用してください。

インストール処理中にはライセンス番号を入力する必要があります。インストールを開始する前にライセンス番号/セールス番号を準備してください。番号は CD のパッケージに記載されています。AVG をオンラインで購入した場合は、ライセンス番号がメールで送信されます。

インストール ファイルをハードディスクにダウンロードして保存すると、インストール処理を実行できます。インストールは各ステップの操作の概要を案内する一連のダイアログで構成されています。次に、各ダイアログの説明を示します。

3.1. インストールの実行



インストール処理は **[ようこそ]** ウィンドウから始まります。このウィンドウではインストール処理で使用する言語を選択し、ライセンス条件に目を通します。**[印刷バージョン]** ボタンをクリックすると、新しいウィンドウでライセンス契約が表示されます。**[同意する]** ボタンをクリックして確認し、次のダイアログへ進みます。

メモ: インストール処理の後半で、アプリケーション インターフェースの言語を追加することもできます。



3.2. ライセンスのアクティベート

[**ライセンスのアクティベート**] ダイアログではライセンス番号を入力する必要があります。

ライセンス番号を[**ライセンス番号**] テキストフィールドに入力します。ライセンス番号はAVGをオンラインで購入した後に送信される確認メールに記載されています。この番号を記載通り正確に入力する必要があります。デジタル形式のライセンス番号が利用できる場合(電子メール)は、コピーと貼り付けを使用して入力することをお勧めします。

AVG ソフトウェア インストーラ

AVG. ライセンスのアクティベート

ライセンス番号:

例: IQNP6-9BCA8-PUQU2-A5HCK-GP338L-93OCB

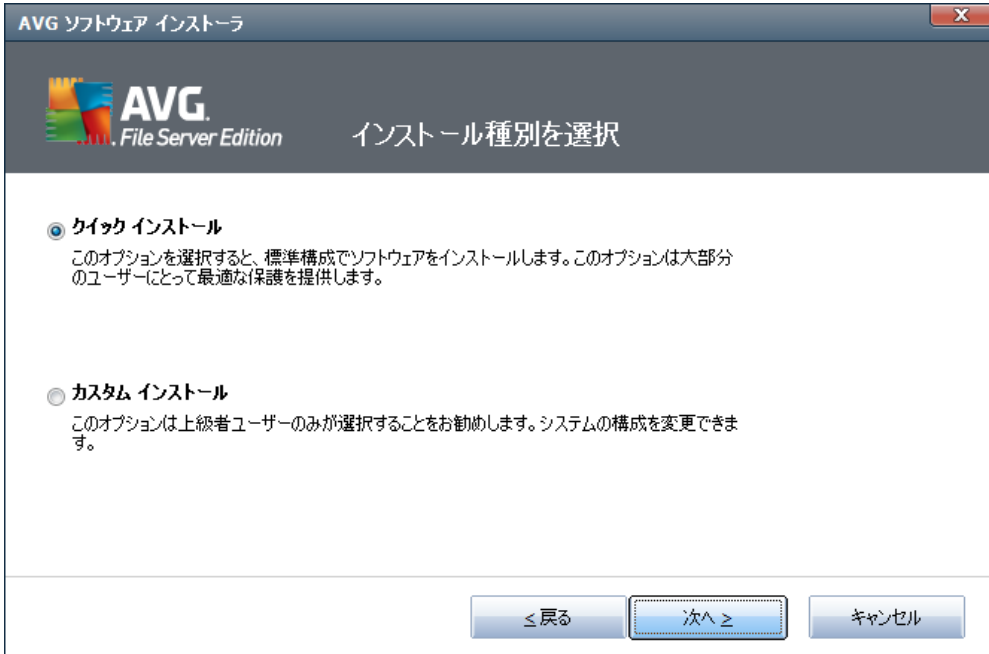
AVG 2012
ソフトウェアをオンラインで購入した場合は、ライセンス番号を電子メールでお送りいたします。入力ミス避けるために、電子メールからライセンス番号をコピーしてこの画面に貼り付けることをお勧めします。

小売店でソフトウェアを購入した場合は、パッケージの製品登録カードにライセンス番号が記載されています。ライセンス番号を正しく入力してください。

<戻る 次へ> キャンセル

[**次へ**] ボタンをクリックして、インストール処理を続けます。

3.3. インストール タイプの選択



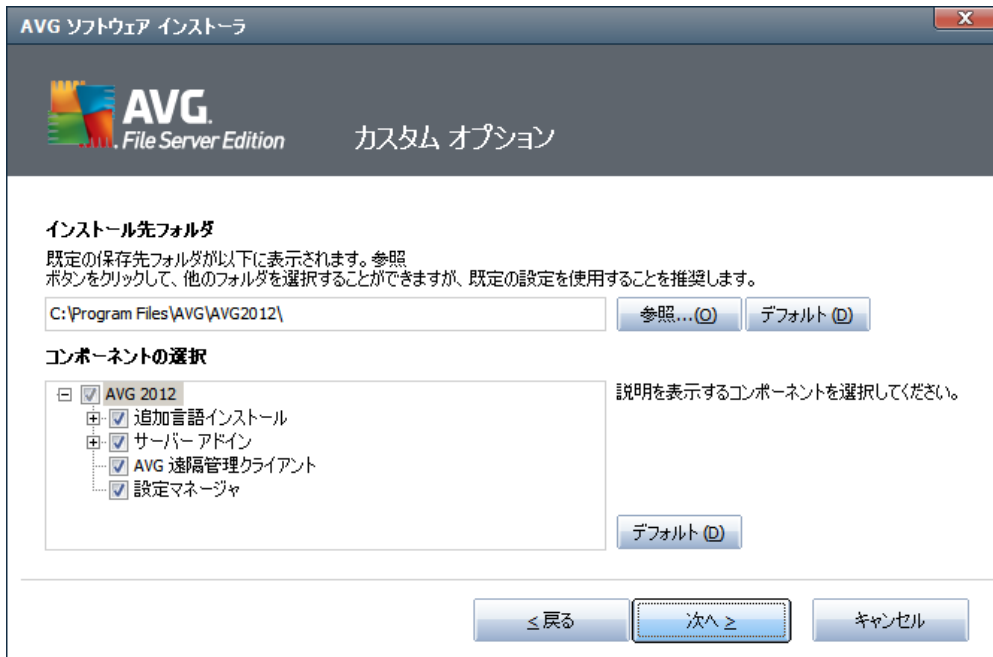
[インストール タイプの選択] ダイアログでは、[クイック インストール] と [カスタム インストール] の 2 つのインストール オプションから選択 できます。

通常ユーザーの場合は、[クイック インストール] を選択し、プログラム ベンダーが事前定義した設定 を使用して AVG を自動モードでインストールすることが強く推奨 されます。この設定は、最適なリソース 消費で最大のセキュリティを実現します。将来的に設定の変更の必要が生じた場合は、いつでも AVG アプリケーションで直接変更 できます。

カスタム インストールは、AVG を標準設定でインストールしない合理的な理由がある場合、経験の あるユーザーのみが行ってください (特定のシステム要件への適合など)。



3.4. カスタム インストール - カスタム オプション



[インストール先 フォルダ] ダイアログでは、AVG をインストールする場所を指定します。既定では AVG は C ドライブの program files フォルダにインストールされます。この場所を変更する場合は、**[参照]** ボタンをクリックしてドライブ構成を表示し、対象フォルダを選択します。

[コンポーネント選択] ダイアログでは、インストール可能なすべての AVG コンポーネントの概要が表示されます。既定の設定が適当でない場合は、特定のコンポーネントを追加または削除できます。

ただし、選択できるコンポーネントは購入した AVG 製品に含まれているコンポーネントのみです。[コンポーネント選択] ダイアログでは、これらのコンポーネントのみをインストール可能です。

- **AVG 遠隔管理クライアント** - AVG を AVG DataCenter (AVG Network Edition) に接続する場合は、このオプションを選択する必要があります。

メモ: 一覧にあるサーバー コンポーネントのみをリモートで管理できます。

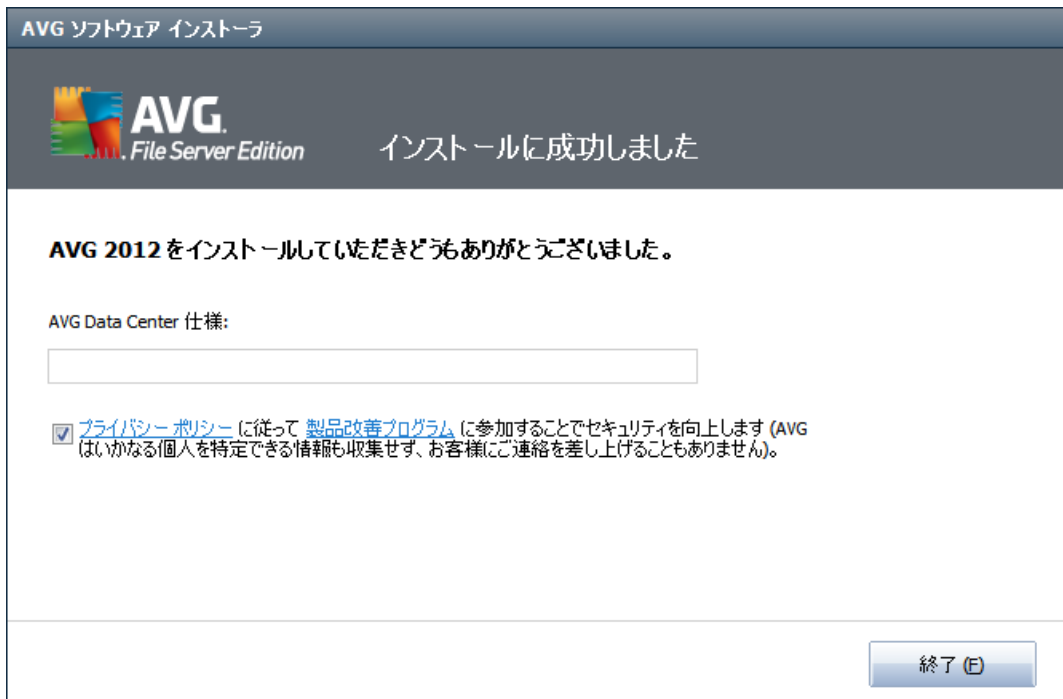
- **設定マネージャ** - 主にネットワーク管理者向けのツールで、AVG 設定のコピー、編集、配布ができます。設定をポータブル デバイス (USB フラッシュドライブなど) に保存して、手動またはその他の方法で選択したステーションに適用できます。
- **追加のインストール言語** - AVG のインストールで使用する言語を定義できます。**[追加でインストールする言語]** 項目にチェックを付け、該当するメニューから任意の言語を選択します。
- **サーバー アドイン** - この AVG 製品では **MS SharePoint 向けドキュメント スキャナ** サーバー コンポーネントのみが提供されています。MS SharePoint に格納されているドキュメントをスキャンし、検出されたウイルスすべてを駆除します。

[次へ] ボタンをクリックして続行します。



3.5. インストール完了

モジュール選択で**遠隔管理コンポーネント**モジュールを選択した場合は、この最後の画面で AVG DataCenter への接続時に使用する接続文字列を定義できます。



AVG はコンピュータにインストールされ、完全に機能しています。プログラムは完全自動モードでバックグラウンドで実行中です。

電子メールサーバーの保護を個々に設定する場合は、該当する章に記載されている手順に従ってください。

- [MS SharePoint 向けドキュメントスキャナ](#)
- [AVG for SharePoint Portal Server](#)



4. MS SharePoint 向けドキュメントスキャナ

4.1. 概要

AVG for MS SharePoint Server 2003/2007/2010 構成 オプションはサーバー コンポーネント画面として AVG File Server 2012 と完全に統合されています。



MS SharePoint 向けドキュメント スキャナ サーバー コンポーネント (この AVG 製品でのみ提供) の目的は、MS SharePoint に格納されているドキュメントをスキャンすることです。ウイルスが検出されるとウイルス隔離室に移動されるか、完全に削除されます。

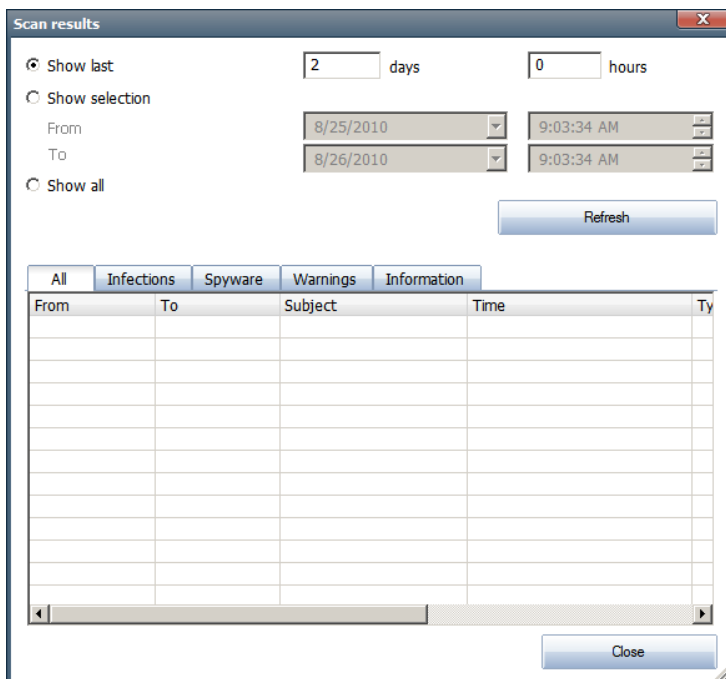
Microsoft SharePoint は、Internet Explorer ベースのコラボレーション機能、プロセス管理 モジュール、検索 モジュール、ドキュメント管理 プラットフォームなどの幅広いコンポーネントを含む製品およびソフトウェア要素群です。SharePoint を使用すると、共有ワークスペース、情報ストア、ドキュメントにアクセスするウェブサイトをホストできます。

コンポーネント アイコンをダブルクリックすると、インターフェースが開きます。



• スキャン結果

スキャン結果を確認するための新しいダイアログが開きます。



このダイアログでは、メッセージが重要度に応じて複数のタブに分かれて表示されます。重要度の変更方法とレポート方法については、各コンポーネントの設定を参照してください。



既定では過去 2 日間の結果のみが表示されます。次のオプションを変更することで、表示期間を変更できます。

- **次の過去の期間内の結果を表示** - 任意の日数と時間数を入力します。
- **選択した期間の結果を表示** - カスタム日時間隔を選択します。
- **すべて表示** - 期間全体の結果を表示します。

[**更新**] ボタンをクリックすると、結果がロードされます。

- **統計値の更新** - 上記で表示される統計値が更新されます。
- **統計値のリセット** - すべての統計値をゼロにリセットします。

次の操作ボタンを利用できます。

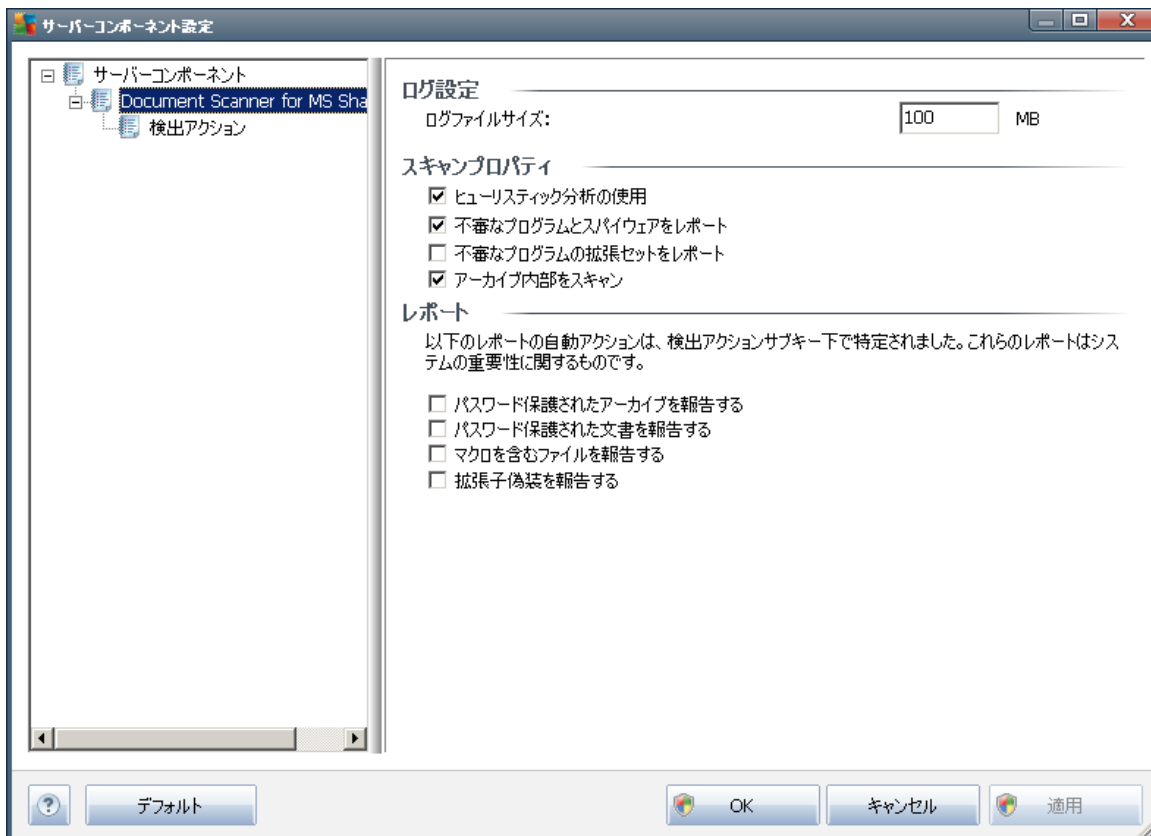
- **設定** - このボタンをクリックすると、コンポーネントの設定が開きます。
- **戻る** - このボタンをクリックすると、サーバー コンポーネント概要

このコンポーネントの詳細設定については、次の章を参照してください。

4.2. MS SharePoint 向けドキュメントスキャナ

MS SharePoint 向けドキュメントスキャナの設定を開くには、コンポーネントのインターフェースから [**設定**] ボタンを選択します。

[**サーバーコンポーネント**] リストから、[**MS SharePoint 向けドキュメントスキャナ**] 項目を選択します。



[**ログ設定**] セクション:

- **ログファイルサイズ**- 任意のログファイルサイズを選択します。既定値は 100 MB です。

[**スキャンプロパティ**] セクション:

- **ヒューリスティックを使用する**- スキャン時にヒューリスティック分析方式を有効にするにはこのチェックをオンにします。
- **不審なプログラムとスパイウェア脅威を報告する**- このオプションにチェックを付けると、不審なプログラムとスパイウェアの存在を報告します。
- **不審なプログラムの拡張設定を報告する**- チェックを付けると、スパイウェアの拡張パッケージを検出します。スパイウェアは、製造元から直接取得する場合には完全に問題がなく無害なプログラムですが、後から悪意のある目的で悪用されるおそれのあるプログラムです。また、常に無害ですが、望ましくないプログラムもあります (各種ツールバーなど)。この機能はコンピュータセキュリティと快適性をさらに高めるための追加的な手段ですが、合法的なプログラムもブロックする可能性があるため、既定ではオフになっています。メモ: この検出機能は前のオプションの追加機能です。したがって、基本タイプのスパイウェアに対する保護を適用する場合には、必ず前のボックスにもチェックを付けた状態にしてください。
- **アーカイブ内部をスキャンする**- アーカイブファイル内 (zip、rar など)もスキャンする場合はこのオプションのチェックをオンにします。



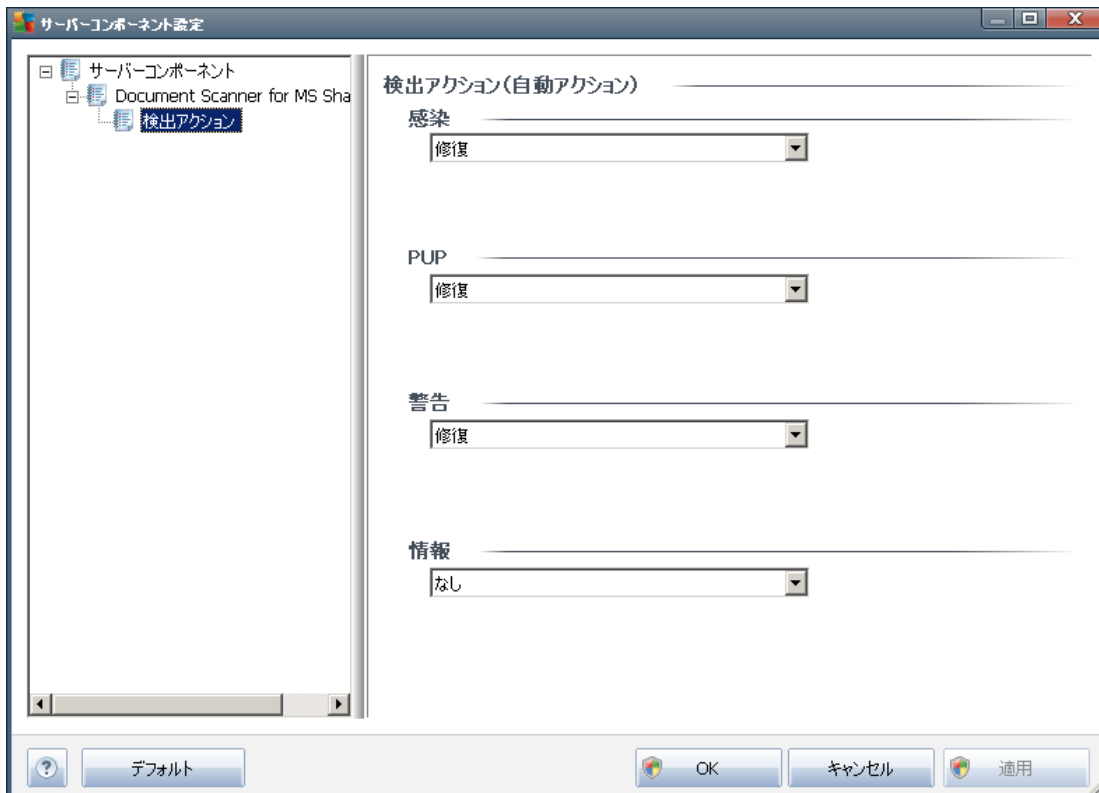
[報告] セクションではスキャン中に報告するアイテムを選択できます。この既定の設定は [***検出アクション] セクションの [情報] 部で簡単に修正できます (次を参照)。

次のオプションが利用可能です。

- **パスワードによって保護されたアーカイブを報告する** - パスワードによって保護されたアーカイブ (ZIP、RAR など) のウイルス スキャンはできません。ボックスにチェックを付けると、このようなアーカイブを潜在的に危険なオブジェクトとして報告します。
- **パスワード保護された文書を報告する** - パスワードによって保護された文書のウイルス スキャンはできません。ボックスにチェックを付けると、潜在的に危険なオブジェクトとしてこのようなドキュメントを報告します。
- **マクロを含むファイルを報告する** - マクロはあるタスクを簡単に実行するためのあらかじめ定義された一連の命令です (MS Wordのマクロが広く知られています)。マクロには潜在的に危険な命令が含まれる可能性があります。ボックスにチェックを付けると、マクロを含むファイルを不審なファイルとして報告します。
- **拡張子偽装を報告する** - たとえば、不審な実行可能ファイル「something.txt.exe」が、無害なテキストファイル「something.txt」として偽装されている場合があります。ボックスにチェックを付けると、このような拡張子を潜在的に危険なオブジェクトとして報告します。

次のツリー構造には、[検出処理] 下位項目もあります (次の章を参照)。

4.3. 検出アクション





このダイアログでは、**MS SharePoint 向けドキュメントスキャナ** コンポーネントで脅威を検出したときの動作方法を設定できます。脅威は複数のカテゴリに分類されます。

- **感染** - それ自体をコピーして拡大させる悪意のあるコード。多くの場合、被害が出るまで気付くことはありません。
- **PUP (不審なプログラム)** - 一般的に、明らかに深刻なものから潜在的なプライバシー脅威に過ぎないものまでさまざまな種類があります。
- **警告** - 検出されたオブジェクトをスキャンできません。
- **情報** - 検出されたすべての潜在的な脅威のうち、上記のいずれのカテゴリにも分類できない項目が表示されます。

ロールダウンメニューを使用して、各検出内容に対する自動アクションを選択します。

- **なし** - このような脅威を含むドキュメントは処理されません。
- **修復** - 感染したファイルやドキュメントの修復を試みます。
- **隔離室に移動** - 感染したドキュメントはすべてウイルス隔離室環境に移動します。
- **削除** - ウイルスが検出されたドキュメントは削除されます。



5. AVG for SharePoint Portal Server

この章では、特別な種類のファイルサーバーと考えられる **MS SharePoint Portal Server** での AVG メンテナンスについて説明します。

5.1. プログラムメンテナンス

AVG for SharePoint Portal Server は Microsoft SP VSAPI 1.4 ウィルス スキャン インターフェースを使用して、ウィルス感染の可能性からサーバーを保護します。ユーザーがサーバー上でオブジェクトをダウンロードまたはアップロードするときに、サーバー上のオブジェクトにマルウェアが存在するかどうかを検査されます。ウィルス対策保護設定は、SharePoint Portal Server の [**サーバーの全体管理**] インターフェースで設定できます。 [**サーバーの全体管理**] では、**AVG for SharePoint Portal Server** ログ ファイルの表示と管理もできます。

サーバーが稼働しているコンピュータにログインするときに、**SharePoint Portal Server サーバーの全体管理** を起動できます。管理 インターフェースには Web ベースのインターフェースと **SharePoint Portal Server** のユーザー インターフェースがあります。Windows の [**スタート**] メニューの [**プログラム/Microsoft Office Server**] フォルダ (**SharePoint Portal Server** のバージョンによって異なります) の [**SharePoint の全体管理**] オプションをクリックするか、 [**管理 ツール**] で [**Sharepoint Central Administration**] を選択すると、この Web ベースのインターフェースが開きます。

また、正しいアクセス権と URL を使用すると、リモートで [**SharePoint Portal Server サーバーの全体管理**] Web ページにアクセスできます。

5.2. AVG for SPPS Configuration - SharePoint 2007

[**SharePoint 3.0 の一元管理**] インターフェースでは、**AVG for SharePoint Portal Server** スキャナのパフォーマンスパラメータとアクションを簡単に設定できます。 [**サーバーの一元管理**] セクションの [**動作**] オプションを選択します。新しいダイアログが表示されます。 [**セキュリティ設定**] セクションの [**ウィルス対策**] 項目を選択します。

Security Configuration

- ▣ Service accounts
- ▣ Information Rights Management
- ▣ Antivirus
- ▣ Blocked file types
- ▣ Update farm administrator's group
- ▣ Information management policy configuration
- ▣ Manage settings for single sign-on

次のウィンドウが表示されます。



Central Administration > Operations > Antivirus

Antivirus

Use this page to configure settings for virus scanning. You must install virus scanning software on all Web servers that are hosting documents before these settings can take effect. [Learn about configuring antivirus settings.](#)

Antivirus Settings

Specify when you want documents stored in document libraries and lists to be virus scanned, and whether you want your virus scanner to attempt to clean infected documents.

- Scan documents on upload
- Scan documents on download
- Allow users to download infected documents
- Attempt to clean infected documents

Antivirus Time Out

You can specify how long the virus scanner should run before timing out. If server response time is slow while scanning, you may want to decrease the number of seconds.

Time out duration (in seconds):

Antivirus Threads

You can specify the number of execution threads on the server that the virus scanner may use. If server response time is slow while scanning, you may want to decrease the number of threads allowed for virus scanning.

Number of threads:

OK

Cancel

ここでは、さまざまな **AVG for SharePoint Portal Server** ウィルス対策 スキャン アクションとパフォーマンス機能を設定できます。

- **アップロード中のドキュメントをスキャンする** - アップロード中のドキュメントのスキャンを有効/無効にします。
- **ダウンロード中のドキュメントをスキャンする** - ダウンロード中のドキュメントのスキャンを有効/無効にします。
- **ユーザーによる感染ドキュメントのダウンロードを許可する** - ユーザーによる感染ドキュメントのダウンロードを許可/禁止します。
- **感染したドキュメントの除去を試みる** - 感染したドキュメントの自動消去を有効/無効にします。
- **タイムアウト時間 (秒)** - 起動後にウィルススキャン処理を実行する最長時間 (秒)。ドキュメントスキャン時のサーバーの応答が遅いように思われる場合は値を下げます。
- **スレッド数** - 同時実行可能なウィルススキャンスレッド数を指定できます。値を大きくすると並列化レベルが上がるためスキャン速度が上がる場合がありますが、一方でサーバーの応答時間が長くなる可能性があります。



5.3. AVG for SPPS Configuration - SharePoint 2003

[SharePoint ポータル サーバーの一元管理] インターフェースでは、AVG for SharePoint Portal Server スキャナのパフォーマンスパラメータとアクションを簡単に設定できます。[セキュリティ設定] セクションの [ウイルス対策アクション設定] オプションを選択します。

Security Configuration

Use these links to update the security options which impact all virtual servers, and to add, update, or change user information for a single top-level Web site.

- Set SharePoint administration group
- Manage site collection owners
- Manage Web site users
- Manage blocked file types
- Configure antivirus settings

次のウィンドウが表示されます。

Windows SharePoint Services Configure Antivirus Settings

Use this page to configure settings for virus scanning. You must install virus scanning software on all Web servers that are hosting documents before these settings can take effect. [Show me more information.](#)

Antivirus Settings

Specify when you want documents stored in document libraries and lists to be virus scanned, and whether you want your virus scanner to attempt to clean infected documents. You can also specify how long the virus scanner should run before timing out, and the number of execution threads on the server that it may use. If server response time is slow while scanning, you may want to decrease the number of seconds and threads allowed for virus scanning.

- Scan documents on upload
- Scan documents on download
- Allow users to download infected documents
- Attempt to clean infected documents
- Time out scanning after seconds
- Allow scanner to use up to threads

OK

Cancel

ここでは、さまざまな AVG for SharePoint Portal Server ウィルス対策 スキャン アクションとパフォーマンス機能を設定できます。

- **アップロード中のドキュメントをスキャンする** - アップロード中のドキュメントのスキャンを有効/無効にします。
- **ダウンロード中のドキュメントをスキャンする** - ダウンロード中のドキュメントのスキャンを有効/無効にします。
- **ユーザーによる感染ドキュメントのダウンロードを許可する** - ユーザーによる感染ドキュメント



トのダウンロードを許可/禁止します。

- **感染したドキュメントの除去を試みる** - 感染したドキュメントの自動消去を有効/無効にします。
- **... 秒後にスキャンをタイムアウト** - 起動後にウイルススキャン処理を実行する最長時間(秒)。ドキュメントスキャン時のサーバーの応答が遅いように思われる場合は値を下げます。
- **スキャナに最大 ... スレッドの使用を許可** - 値には同時に実行可能なウイルススキャンスレッド数を指定します。値を大きくすると、並列化レベルが上がるためスキャン速度が上がる場合がありますが、一方でサーバーの応答時間が長くなる可能性があります。



6. AVG 設定マネージャ

AVG 設定マネージャは主に、AVG 設定をコピー、編集、配布ができる小規模ネットワークに適したツールです。設定をポータブルデバイス(USB フラッシュドライブなど)に保存して、選択したステーションに手動で適用できます。

ツールは AVG インストールに含まれており、Windows の [スタート] メニューから利用可能です。

すべてのプログラム/AVG 2012/AVG 設定マネージャ



• AVG 設定

- **AVG 設定の編集** - このリンクを使用すると、ローカル AVG の高度な設定ダイアログを開きます。ここで行われたすべての変更は、ローカル AVG インストールにも反映されません。
- **AVG 設定のロードと編集** - 既に AVG 設定ファイル (.pck) がある場合は、このボタンを使用してファイルを開き、編集します。[OK] または [適用] ボタンをクリックして変更を確定すると、ファイルは新しい設定に置き換えられます。

• AVG ファイアウォール設定

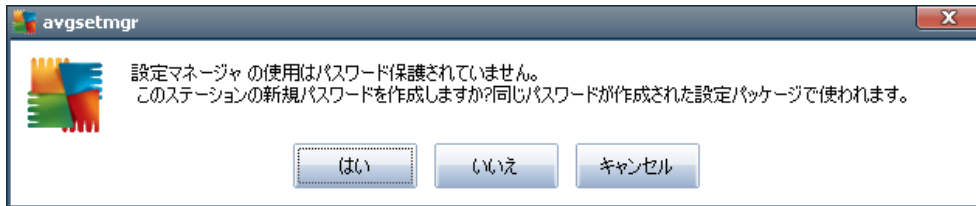
このセクションでは、ローカル AVG インストールのファイアウォール設定の変更や、既に準備されている AVG 設定ファイル (.pck) のファイアウォール設定の変更ができます。ただし、AVG File Server 2012 にファイアウォールコンポーネントが含まれない場合、リンクがグレイ表示されて機能しなくなります。

• ロードオプション

- **保存した設定を AVG にロード** - このリンクを使用すると、AVG 設定ファイル (.pck) が開き、AVG のローカルインストールに適用されます。

- 保存オプション

- ローカル AVG 設定をファイルに保存 - このリンクを使用すると、ローカル AVG インストールの AVG 設定 ファイルを保存します。[許可されたアクション] にパスワードを設定しなかった場合は、次のダイアログが表示されることがあります。



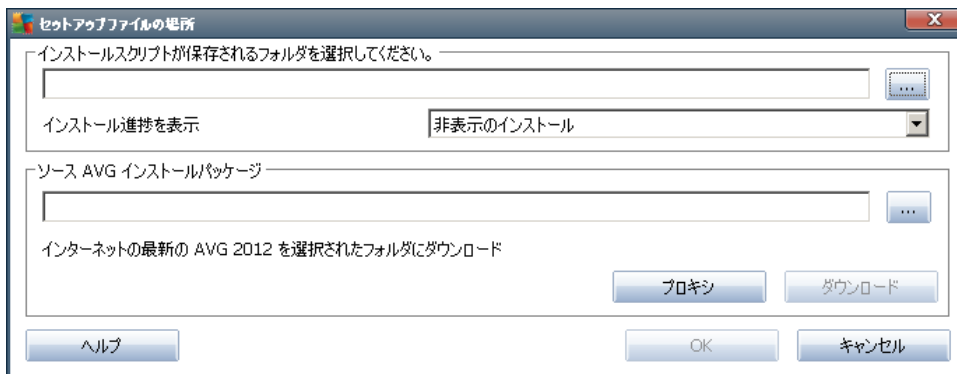
許可された項目へのアクセスにパスワードを設定する場合は、[はい] をクリックして必要な項目に情報を入力してから入力内容を確認します。パスワードの作成をスキップし、ローカル AVG 設定をファイルに保存する場合は [いいえ] をクリックします。

- コピー オプション

- 同じ設定をネットワーク全体に適用 - このリンクをクリックすると、カスタム オプションでインストール パッケージを作成し、ローカル AVG のコピーを作成できます。クローンには、次の設定を除くほとんどの AVG 設定を含めることができます。

- ✓ 言語設定
- ✓ サウンド設定
- ✓ 個人情報保護コンポーネントの許可されたリストと不審なプログラム例外

実行するには、まずインストール スクリプトを保存するフォルダを選択します。



次に、ドロップダウン メニューから次のいずれかを選択します。

- ✓ インストールを表示しない - セットアップ処理中は情報が一切表示されません。
- ✓ インストールの進行状況のみを表示する - インストール中にユーザー操作は必要はありません。進行状況のみが表示されます。



✓ インストール ウィザードを表示する-インストール ステップが表示され、ユーザーはすべてのステップを手動で確定する必要があります。

[**ダウンロード**] ボタンをクリックして、最新の AVG インストール パッケージを AVG Web サイトから選択しフォルダに直接ダウンロードするか、AVG インストール パッケージを手動でフォルダに保存します。

プロキシ サーバーを設定してネットワーク接続する必要がある場合は、[**プロキシ**] ボタンをクリックしてプロキシ サーバーを定義できます。

[**OK**] ボタンをクリックすると、コピー処理が開始され、短時間で完了します。許可された項目 (前述の説明を参照) の設定パスワードを確認するダイアログが表示される場合があります。完了すると、**AvgSetup.bat** が選択したフォルダに保存され、その他のファイルとともに利用可能になります。**AvgSet.bat** ファイルを実行すると、前の手順で選択したパラメータに基づいて AVG がインストールされます。



7. FAQ およびテクニカル サポート

AVG に関する問題がある場合、購入に関する問題、技術的問題にかかわらず、AVG Web サイト (<http://www.avg.com>) の [FAQ](#) を参照してください。

この方法でヘルプが見つからない場合は、電子メールでテクニカルサポート部門までお問い合わせください。システムメニューの [ヘルプオンラインヘルプ](#) より、お問い合わせフォームをご利用ください。